

女性史の研究に新たな視点を提供する大年表

世界女性史大事典

編集 L.ブレイクマン 翻訳者代表 田中かず子

A5・790頁 定価(本体17,600円+税) ISBN978-4-8169-1553-6 1999年8月刊行

日本図書館協会
選定図書

毎日新聞(読書欄1999.7.4)で紹介

女性が闘い、目指し、解放し、向上させてきたものは…。
それらの問いに世界的視野で答えてくれます！

- 女性の存在を掘り起こす努力が積み重ねられる中で明らかになった数々の新事実が、女性の地位向上や諸権利の拡大に関連した出来事とともに世界史規模で記録されています。
- 編年順に記載された2,000項目は、女性が政治、経済、芸術、芸能、スポーツ、科学などの諸分野へ多くの困難を克服しながら進出してゆく様子を物語ってくれます。
- 巻末に付録として「神話と伝承」、女性史関連の重要文書・宣言等を収めた「史料集」があります。
- 「女性人名索引」「事項名索引」付き。

女性に関する本を一覧

女性・婦人問題の本全情報45/94

定価(本体16,400円+税) ISBN978-4-8169-1362-4 1996.4刊

女性・婦人問題の本全情報95/98

定価(本体14,400円+税) ISBN978-4-8169-1571-0 1999.11刊

1212年 アッシジのクララ、クララ会を設立

アッシジのクララが、アッシジにフランシスコ会の修道院を設立する。フランシスコ会の修道僧と同様に修道女たちにも街頭で托鉢させたいと希望したが、ローマカトリック教会は修道女たちは修道院の外に出てはならないと主張。しだいにクララの信奉者の集まりである「クララ会」の存在が知られるようになりヨーロッパ全土に広まる。1253年に死去。同年、バチカン宮殿は、クララが書いたクララ会の宗規—女性が書いた最初の宗規—を認めた。1255年、列聖。

1212年1月18日 グルジアのタマラ女王、死去

24年間グルジア王国に君臨したタマラ女王が死去、18歳の息子ギオルギが王位を継承する。

1215年6月15日 イングランド王、イングランドのタニミードでマグナカルタに署名

マグナカルタは、君主制から議会政治への移行を象徴するものとして重要な意味をもつ。イングランドのジョン王は、諸侯の強い要望により各侯の領地に対する権利を承認させられる。マグナカルタには、妻が夫の遺産を相続する権利についての問題点も明記されている。

1215年11月1日 第4ラテラノ公会議、結婚を sacrament のひとつと宣言

ローマにあるセントジョンラテラノのバシリカ聖堂で開催された第4ラテラノ公会議に出席した代表団が、「結婚は、7つの sacrament

202006

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	注文書	世界女性史大事典	
		定価(本体17,600円+税) ISBN978-4-8169-1553-6	冊